

NODA Hiroji 1981 -2011

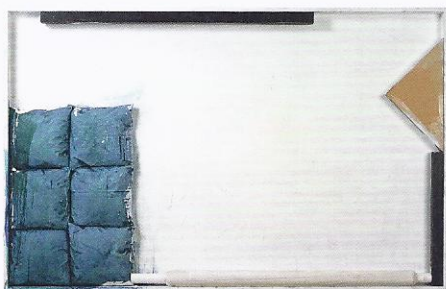
野田裕示

絵画のかたち／絵画の姿

野田裕示(1952年 和歌山県生まれ)は、多摩美術大学を卒業した翌1977年、南画廊の最年少作家として個展を開くなど、早くから才能を認められた画家でしたが、80年代初頭より絵画の新しい可能性を求め、様々な模索を始めました。

野田の絵画の本質を問う作業は、一種のレリーフ作品ともいえる箱状の造形によってスタートしました。80年代半ばにはそれが発展し、支持体を袋状に覆う独自の絵画スタイルが登場します。さらに90年代は、カンヴァスを縫い合わせ、折り返し重ねる手法によって深化が図られますが、2000年を迎える頃には、下地は徐々に平滑になり、独特の形象が自在に描かれる画面へと変貌していきました。そして近年の、特定のテーマによる連作や、組み合わせを意識した作品は、展示の有り様を重視する傾向へと進んでいます。

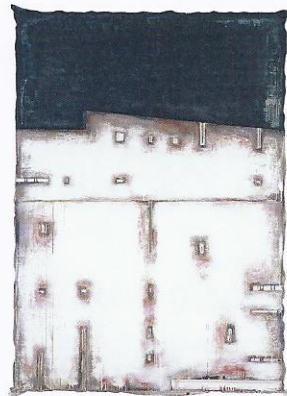
東京で初めての回顧展となる本展では、30年に及ぶ画家の取り組みを約140点の作品によって概観します。作家がどのように造形思考を深め、作品化してきたのかを確認すると共に、今後の絵画の展望に思いを馳せる機会となることを願うものです。



1



2



3



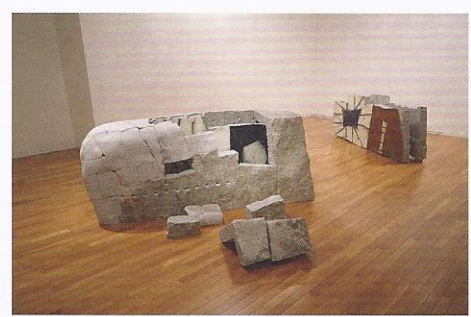
4



5



6



7



8



9

- 1 《WORK 147》1982年 | アクリル、綿布、紙、木、ボード
- 2 《WORK 299》1987年 | アクリル、木、カンヴァス | 和歌山県立近代美術館蔵
- 3 《WORK 505》1988年 | アクリル、木、カンヴァス | 和歌山県立近代美術館蔵
- 4 《WORK 580》1990年 | アクリル、木、カンヴァス | 個人蔵
- 5 《WORK 639》1991年 | アクリル、綿布、木、カンヴァス
- 6 《WORK 794》1993年 | アクリル、麻布、木、カンヴァス
- 7 《Collaboration 1996 O&N-I》(左)
《Collaboration 1996 O&N-II》(右)
1996年 | アクリル、白部影石 | 愛知県美術館蔵
彫刻家・岡本敦生とのコラボレーション(岡本敦生撮影)
- 8 《WORK 1422》2001年 | アクリル、綿布、カンヴァス
- 9 《WORK 1666》2006年 | アクリル、綿布、カンヴァス

●関連イベント

- 講演会&アーティスト・トーク
- ①1月21日(土)「自作を語る」野田裕示
 - ②2月4日(土)「南画廊と野田裕示」林牧人(森美術館 管理運営グループ ファシリティー・マネージャー)
 - ③3月2日(金) 対談:野田裕示×福永治(当館副館長・展覧企画者)
 - ④3月17日(土)「美術批評と野田裕示」三田晴夫(美術ジャーナリスト)
- 時間: ①②④は14:00-15:30 ③は18:30-19:30
会場: 国立新美術館3階講堂 定員: 250名(先着順) 聴講無料ですが、本展観覧券(半券可)の提示が必要です
- ワークショップ
- 2月18日(土) 講師: 富田菜摘(現代美術家)、野田裕示 *参加には事前申し込みが必要です
 - 3月24日(土) 講師: 開発好明(現代美術家)、野田裕示 *参加には事前申し込みが必要です

*各イベントの日時や内容は変更される場合があります。詳細やその他関連イベント等の最新情報については、当館ホームページをご覧ください



THE
NATIONAL
ART CENTER.
TOKYO
国立新美術館

アクセス:
東京メトロ千代田線 乃木坂駅 青山公園方面改札6出口(美術館直結)
東京メトロ日比谷線 六本木駅 4a出口から徒歩5分
都営地下鉄大江戸線 六本木駅 7出口から徒歩4分
〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2
お問い合わせ: 03-5777-8600(ハローダイヤル) URL: <http://www.nact.jp/>

